

第11回おのみち100km徒歩の旅
事業報告会アンケート集計《設問10》

設問10 (ご家庭での子どもさんへの接し方で、 変わった点がございましたらお書きください。)
特にありません。
成長期と重なってるせいなのか、イライラが多く、自分を強く見せたがることが多く、言い合いになることもたくさんありますが、「成長期なんだから、イライラしてるんだ…」と少し引いて付き合うようにしたら少し楽になりました。
「早くしなさい」とか「〇〇したの？」という言葉かけを少し待つように意識しています。
生活は相変わらずですが、時々立派なことを言うようになった。Tシャツをかざって思い出すようにしている。
今まで「大丈夫かな？」と不安に思っていたことも、信頼してまかせられるようになりました。家ではわがまま放題なのに、意外にも外ではしっかりしていることを知り、頼もしく思うようになりました。
普段通りです。
「100km歩いたんだから、これくらいできるだろう」って任せられるようになった。(できるかできないかは別として)
自分から参加すると言い、完歩し、本当にうれしく感動しました。そのことを伝え、普段からも、感謝する気持ちを伝えていきます。
こちらがこと細かにいちいち言わなくても、自分ですべき事をするようになってので、私も口うるさく言う事が減ったと思います。
一歩ひいて様子を見てから声かけするようになった。
今まで以上に、子どものいうことに耳をかたむけようとはしているのですが…
なるべく子どもにまかせて行動させたいと思えるようになった。
誉めることの大切さを改めて感じました。
自分が思っていたよりずっと強いんだな、と思いました。認めてあげられるようになった。尊重するようになった。あまり怒らなくてもいいなと思うようになった。
自分の事は自分でさせる。
すごい事をしたんだという話を家庭でしました。やろうと思えば何でもできるんだと思い、尊敬します。
一つ一つの事「あれしなさい」「これはした？」などと言っていたのが、言わなくなった。あまり口を出さないようになったと思います。
特にありません。
答えを言うのではなく、考えさせていくようにしています。
下の子ともあり、ついついいつまでも小さな子あつかいしていた事に気づき、一人の5年生の子どもとして接するようになりました。
ダメなことはきっぱりとしかるようになってきたつもりですが、まだ甘やかしている部分があったように思ったので子どもを育てるという点で今後も気をつけたいです。
「どうしよう」「できないかも」と考えていたら、まず「やってみたら？」と声かけをする機会が増えました。
ある程度、子どもの意思を尊重するようになりました。
先々手を出さず、待つ(耐える)ように心がけています。
ほめることをたくさんするようにしています。

事業報告会アンケート集計《設問10》

設問10 (ご家庭での子どもさんへの接し方で、 変わった点がございましたらお書きください。)
子どもにありがとうを感じるようになりました。
任せられることが増えました。自分で考え行動できるという信頼がうまれました。
言葉を交わし、ねばり強く、思いを伝えていけば、子どもの行動が変わってきました。なるべく、自立した人として関わろうと心がけています。
この5日間で得たことを実践させてあげようと家事の手伝いなど声をかけてみました。数日でしたが、はりきっていました。
「どっちがいい？」と子どもに聞かれることがありますが、「どっちがいいか自分で考えてごらん」と言って、自分で答えを出すような声かけをしています。
100kmを完歩した事に、母が感動し、子どもをほめすぎてしまったのか、「オレってすごい人」と変な勘違いをし、頭でっかちのような態度になってしまった。
子どものことを信じて、少し見守っていけるようにしようと思います。
何でも率先してやってくれるので、口を出さず、お任せするようになりました。
あまり口を出すことがなくなりました。
いつもは、兄弟げんかばかりですが、兄の不在で一番さみしかったのは弟でした。けんかしながらも、お互いに必要な存在なのだと感じ、私自信、二人の兄弟げんかへの見方がおおらかなものになりました。
少し距離をとれるようになったと思います。
特になし。
手や口を出すのを、ひかえています。
自分の事は自分でやるように、出来る限り手助けをしない事を心がけています。
こまかい事をいうのは言わない事にした。
下の子なので何から何まで、私が気づかうような感じでしたが、おの100後は、子どもが自立したので、少し距離をおいて、見守ることができるようになりました。
あまり変わっていません。
本人の自主性は尊重して行動しています。本人が苦しい時、三度笠とサイン入りTシャツを見て頑張っております。
少し黙って見守ることで、子ども自身が気づいて行動できるようになりました。「待つ」というのはとても大事な時間だと、子どもに教えてもらいました。
頑張ることができることを知ったので、子どもを信じようと思うようになった。
100km歩ける力を持っていると思い、何でもできる、やってみる。やらせてみようと思いました。
自立するような声掛けをするようにした。
声をかける前に自分でするのをまつようになった。
特にありません。
いやな事があっても「出来るよ」と声かけすると何か力がわいてくるようです。自らの考えで行動出来るよう、声かけするよう心がけてます。
行動を促すような声かけが減りました。子どもは自分で考えていることがわかり信じて待てるようになってきたのかもしれない。

事業報告会アンケート集計《設問10》

設問10 (ご家庭での子どもさんへの接し方で、 変わった点がございましたらお書きください。)
信頼が強くなった。
あまりつらい顔を見せない姿に、娘の芯の強さを感じました。よく話を聞いて、娘の意見を尊重するようにして、自分で決断することが出来るように声かけしています。
自主性を尊重するようになった。
少し考えて、やらせてみるようになりました。
家では相変わらず、のんびりマイペースなので大変です。宿題(夏休み)を山のようにためていて…。楽しい事(やりたい事・太鼓など)をするには、日常しないといけない事をきちんとこなす事。
私自身は、上の子ども含めて4回目ですが、毎年毎年、思い出し→忘れ→を繰り返しながらなかなか成長できずにいます。信じて待つことの大切さを忘れないでいたいです。
特になし。
過保護にならないように気を付けています。
子どもの力を信じて任せられるようになってきました。親と子というより、人と人として、色々話せるようになったような感じがします。
特に変わっていません。
息子は、勉強が好きでないし、外遊びもほとんどしないし…息子の子育てに悩んでいました。もちろん今でも悩みはあるけど、2度目のおの100を完歩出来た息子に将来の期待がもてた感じです。勉強しろ！！って怒るのを少なくしてます。
親が思ったよりも子どもがしっかりしていたことが分かり、子どもの判断にまかせることが少し増えました。あまり口出ししなくても、自分のことができるようになったので嬉しかったです。
家族はみな完歩できないのでは？遅れて歩くのでは？と思っていたので、家族から見直された(祖父、祖母)。
子どもの行動を”待つ大切さ”を私自身知りました。これは5日間子どもと離れて学んだ事です。”待つ事”大切にしていきたいと思います。
あまり変わりなく…。
自分のことは自分で…。
待つようになったことです。前から心がけてはいましたが、あまりこちらから声をかけることをひかえるようにしています。
ただしかるのではなく、”自分に自信を持って！！”と言うようになった。
やれば何でもできる！と思い、本当によくがんばったと思いました。素晴らしい経験ができ、信じてやろう！と思うようになりました。
自分で計画を立てて行動するようになったので、今までのように、口出ししなくなった。「??」と思う計画の立て方も多々あるが、本人なりの考えがあると尊重できるようになった。
なるべく自分の事は自分でさせるようにしています。
なるべく先々声かけをせず、見守るようにしています。失敗に気付けるようにしています。
親元を離れてすごしたことで、やれば自分でできるということが分かりました。あまり、手出しせず、見守るようにしています。
自分の意志が以前よりはっきりしてきたように感じたので、まず何かする前は、きちんと意見を聞くようにしました。
特にありません。自分でできることは、やらせようと思います。(子どもの力を信じて)

事業報告会アンケート集計《設問10》

<p>設問10 (ご家庭での子どもさんへの接し方で、 変わった点がございましたらお書きください。)</p>
<p>少し大きく成長したかなと思い、あまり世話をやかなくなった。</p>
<p>口を出したくなるところでも、少しだけですが、待つように心がけ、本人が気がつくような声かけに心がけています。</p>
<p>注意すると、素直に聞くようになった。</p>
<p>「どうしたい?」「ゴールは何」「そのためにどうする?」「まわりは?」という声かけを意識して増やすようにしている。</p>
<p>何か変わる事、感じてもらえることを期待しすぎていた。人はやっぱりそんなに簡単に変わるものではないと思った。大人でもそんなに簡単に変わるものではないので。</p>
<p>ただ今反抗期まっただ中。今までの様子とは違い、外で頑張っている様子を見て、本当に見守る(目を離さずに)ことが今こそ大切だと感じています。</p>